

学校だより



令和7年8月29日(金)
8・9月号
NO. 5

尾崎市立明城小学校

<https://www.ama-net.ed.jp/school/e01/>
尾崎市南城内 10 番地の 1 TEL06-6481-2432

校長 菅 光徳

『ピンチは、チャンス！』

1 か月余りあった夏休みも終わりました。どんな休みだったでしょうか？
2 学期の始まりは、まだまだ暑い日が続き、少し動くと「暑い。暑い。」が口ぐせのように話していますが、終わりごろは、少し外に出ると「寒い。寒い。」と言っているほど、季節が進みます。日数で見えてみると、授業日数は、80日（予定）あります。

この2学期には、作品展、修学旅行（6年）、体育大会、連合体育大会（6年）、校外学習、図工展などたくさんの行事があると同時に、授業もより進んでいきます。

目標を立てることも大切。その目標を達成するために、一日一日をどのように過ごし、80日積み重ねていかなければいけません。

こう考えるととてもとても、大変なことのようには思いますが、そうでもありません。考え方を少し変えてみるだけで大きく変わっていきます。

この夏休みの間に、阪神タイガーズ元監督 矢野 燿大さんの話を聞く機会がありました。矢野元監督は、口ぐせのように「ピンチはチャンス」と選手時代は自分自身に、監督時代は、選手に事あるごとに話をしていたそうです。9回サヨナラのピンチに、守備についていると、どうしても「打球が飛んで来たら・・・」「エラーしたらどうしよう」とか、得点のチャンスに打席が回ってくると「打てなかったら、試合が終わる」など、プロ野球の選手でも、ピンチをよりピンチにする考えになってしまうそうです。そんなときに、「自分のところにボールが飛んで来たらヒーローになれるチャンス」「ここで打ったら、ヒーローや」と、少し考え方を変えていくことを、選手時代や、特に監督時代には、選手に話をすることを常に心掛けていたそうです。

誰でも苦手なこと、したくないことがあります。でも「いややな」「めんどくさいな」という考えではなく、「いやなことを頑張る自分はすばらしい」とか「めんどくさいことでも、ここが楽しそうだ」など考え方を少し変えて、2学期の学校生活に臨んでみましょう。

その少しのこころがけを、積み重ねていくことで、2学期の学校生活がきっと楽しく充実したものになります。

明城小学校の子どもも教職員も「ピンチはチャンス」を合言葉にこの2学期過ごしていきます。



8・9月の行事予定

8月29日	金	始業式（12時下校）定時退勤日
30日	土	
31日	日	
9月1日	月	給食開始
2日	火	夏休み作品展 身体測定（青空・1年）
3日	水	夏休み作品展 身体測定（2年） 委員会活動
4日	木	代表委員会 身体測定（3年） 放課後学習
5日	金	身体測定（5年） 明漢検定 定時退勤日
6日	土	
7日	日	
8日	月	身体測定（6年）
9日	火	児童集会 身体測定（4年）
10日	水	6年（13時30分下校） 完全定時退勤日
11日	木	修学旅行（6年） 放課後学習
12日	金	修学旅行（6年） PTA 試食会 明漢検定 定時退勤日
13日	土	
14日	日	
15日	月	敬老の日
16日	火	視力検査（2・3年）
17日	水	視力検査（4年） クラブ活動
18日	木	視力検査（5・6年） 放課後学習
19日	金	視力検査（青空・1年） 明漢検定 定時退勤日
20日	土	
21日	日	
22日	月	
23日	火	秋分の日
24日	水	
25日	木	放課後学習
26日	金	明漢検定 定時退勤日
27日	土	
28日	日	
29日	月	
30日	火	



○インターン実習等

9月3日以降、兵庫県の大学に在籍の学生がインターン活動を行います。教育実習の前の学校現場体験をします。

○全国学力学習状況調査の結果が出ました。

6年生が4月17日に受けた全国学力・学習状況調査の結果が出ました。

国語14問、算数16問中、国語が半分ほど、算数が半分より少し少ないぐらいが、本校の正答率でした。

本校の結果を踏まえ、今後の指導に生かしてまいります。

また、12月上旬には、あまっ子ステップアップ調査があります。この調査は、個人の経年で結果を見ることができると、全国との比較もできます。その時点のお子様の国語・算数の学力を知ることや、2年生以上のお子様には、昨年度との比較もすることができ、自分自身を振り返るうえで、たいへん役に立ちます。

「できた」「できなかった」ではなく、テストに対してどのように向かったか？この調査でどのように振り返り、どのように自分自身を向上させるか？この「振り返り→実行」の流れが、非常に重要です。

そのため学校では、授業ごとに「めあて」を定め、子ども同士の「話し合い活動」を中心とし、学びを深めていくことを重視した授業を目指しています。

また、基礎基本の定着は、一日にしてなりません。何度も何度も復習を繰り返して身につけていくものです。学校においても機会あるごとに見直してまいります。

家庭でもちょっとした機会に、復習に取り組んでいただければ幸いです。（ちなみに市内で活用している学習支援サービス「eライブラリ」は学校のタブレットだけでなく、ご家庭のPCでも利用できます。ぜひ、ご活用ください。）